

## 2018年9月16日(日)開催 臨床・実用先進リハビリテーションカンファランス(CIRC & PIRRC)

09:45-10:15	発表者受付・試写		
09:30-10:30	参加者受付		
10:30-10:35	開会の辞	才藤栄一	
10:35-13:00	臨床先進リハビリテーションカンファランス(発表7分、質疑応答2分)	座長：岡崎英人、柴田斉子	
10:35-10:44	刈谷豊田総合病院	小沢将臣	Balloon Kyphoplasty (BKP) 後のリハビリテーションの検討
10:44-10:53	三九朗病院	加藤智久	当院通所リハビリ利用者の卒業意識について-アンケート調査による利用者意識と今後の展望-
10:53-11:02	東名ブレース株式会社	大橋司雅	RAPSの改良報告-破損分析とその対策-
11:02-11:11	国立長寿医療研究センター	伊藤 圭	大腿骨近位部骨折患者の再転倒に関係する要因
11:11-11:20	中京病院	寺谷章弘	療法士専従病棟の転倒・転落アセスメントシートの検討
11:20-11:29	株式会社モリトー	森島勝美	Safety Suspension System-安全懸架装置10年の歩みと未来-
11:29-11:38	花の丘病院	舘 友基	高齢2型糖尿病患者のサルコペニア有病率と血糖コントロールや身体機能の関連性
11:38-11:47	足利赤十字病院	鈴木聡史	結核患者における栄養状態とリハビリ介入の有無が及ぼす影響
11:47-11:57		-休憩-	
11:57-12:06	株式会社大塚製薬工場	石橋直人	咀嚼嚥下訓練用食品(プロセスリード®)の有用性-舌による押しつぶしを想定した検討-
12:06-12:15	輝山会記念病院	三室一樹	当院回復期リハビリ病棟での透析患者のリハビリ効果の検討
12:15-12:24	宇野病院	西尾 友	屋外歩行訓練の効率化・リスク管理の検討-屋外歩行地図の作成-
12:24-12:33	アスカ株式会社	樋口 励	対麻痺者用歩行補助ロボットWPAL-G
12:33-12:42	アルペンリハビリテーション病院	中本健一	リハビリ医療提供体制の改善に向けた当院の取り組み
12:42-12:51	鶴飼リハビリテーション病院	伊藤 梓	回復期における脳血管疾患患者の高次脳機能障害の重症度の推移とADLとの関連-CBAを用いて-
12:51-13:00	トヨタ自動車株式会社	中島一誠	ToFuture Project
13:00-13:15		-休憩, 弁当配布-	
13:15-14:00	ランチョンセミナー(発表40分、質疑応答5分)	大塚 圭	臨床指向的歩行分析の進歩
14:00-14:15		-休憩-	
14:15-15:30	実用先進リハビリテーションカンファランス	加賀谷斉(座長)	
14:15-14:30	(発表12分、質疑応答3分)	向野雅彦	Activity Quantification projects
14:30-14:45	(発表12分、質疑応答3分)	國分実伸	ELF project
14:45-15:00	(発表12分、質疑応答3分)	稲本陽子	Phi project
15:00-15:15	(発表12分、質疑応答3分)	平野 哲	WPAL & ToFuture project
15:15-15:30	(発表12分、質疑応答3分)	田辺茂雄	RSH・AAT project
15:30-15:40		-休憩-	
15:40-16:30	特別講演	大高洋平(座長)	
15:40-16:05	(発表20分、質疑応答5分)	Nam-Jong Paik	Researches in SNUBH's NeuroRehabilitation Laboratory
16:05-16:30	(発表20分、質疑応答5分)	Pablo A. Celnik	Recovery Mechanisms, Prognosis and Treatment using Non-invasive Brain Stimulation following Stroke
16:30-16:35	閉会の辞	金田嘉清	